



# 震災(残すべき)記憶とかたち

～震災の経験・記憶をどのように伝えていくか～

東日本大震災から3年が経ち、着実に被災地の復旧・復興が進んでいます。  
その一方で、震災の経験・記憶を後世に伝えていく私たちの姿勢が今、問われています。  
本レクチャーでは「震災、残すべき記憶とかたち」をテーマに、  
どのように伝えていくことができるのか、様々な角度から議論してみたいと思います。

日時

2014年3月16日(日)  
13:15 開会(12:30 開場)

定員 150名  
入場無料

場所

東北大学片平さくらホール  
仙台市青葉区片平2丁目 1-1

## 講演者、コーディネーター



河北新報社報道部長  
今野 俊宏



スミソニアン・アメリカ国立  
自然史博物館展示企画プロ  
ジェクトマネジメント主任  
知念 淳子



東北大学災害科学  
国際研究所助手  
保田 真理



東北大学学術資源  
研究公開センター長  
西 弘嗣



東北大学総長顧問  
マーティ  
キーナート

## 応募方法

郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、参加人数(2人まで)を明記し、Eメール、ファクス、はがきで申し込みください。  
宛先 河北新報社企画事業部「片平レクチャーシリーズ」係  
Eメール j-oubo3@po.kahoku.co.jp / ファクス 022-211-1221 / はがき 〒980-8660 (住所記載不要)  
※応募多数の場合は抽選とし、聴講券の発送をもって当選発表と替えさせていただきます。



公共交通機関をご利用ください  
仙台市営バス  
バス停「東北大正門前」で下車  
タクシー  
JR仙台駅西口から約10分  
徒歩  
JR仙台駅西口から徒歩約25分

# 震災、残すべき 記憶とかがたち

震災の経験・記憶をどのように伝えていくか

## プログラム

主催者挨拶 13:15~13:25

プレゼンテーション 13:25~15:00

①「いのちと地域を守る～むすび塾の取り組み～」  
河北新報社報道部長 今野 俊宏

②「災害の経験を減災の意識につなぐ～減災「結」プロジェクトの実践～」  
東北大学災害科学国際研究所助手(防災士) 保田 真理  
(休憩(10分))

③「災害の記録を伝えるためにはどうするか  
～スミソニアン国立自然史博物館の試み～」  
スミソニアン・アメリカ国立自然史博物館/展示企画プロジェクトマネジメント主任  
知念 淳子

④「震災遺構をどのように残していくか —3次元デジタルデータ保存—」  
東北大学学術資源研究公開センター長 西 弘嗣  
(舞台転換(5分))

パネルトーク(30分) 15:05~15:35

テーマ：震災の経験、記憶をどのように伝えていくべきか

コーディネーター：東北大学総長顧問 マーティ キーナート

パネラー：話題提供者 4名

## 閉会

※一部変更になる場合がございます。



河北新報社報道部長  
今野 俊宏

1983年早稲田大学法学部卒。同年河北新報社入社。編集局報道部、盛岡支社、白石支局、東京支社編集部、報道部仙台市政クラブキャップ、遊軍キャップなどを経験。報道部副部長、編集局編集委員、気仙沼総局長、河北新報メディアセンター長を経て、2012年4月から現職。



スミソニアン・アメリカ国立自然史博物館  
展示企画プロジェクトマネジメント主任  
知念 淳子

1998年ジョージワシントン大学博物館学修了。1999年スミソニアン国立自然史博物館で開催されたアイヌ特別展より同館展示部に所属。展示部製作部助手を経て、展示プロジェクトマネージャーとして常設展のHuman Origins(人類進化展)や2013年12月にオープンした新教育センター Q?rius等の展示プロジェクトを手がける。2013年7月より現職。



東北大学災害科学国際研究所助手  
保田 真理

1980年甲南大学文学部を卒業後、結婚、出産、育児を経て、1998年東北大学工学研究科附属災害制御研究センター研究支援員として津波工学研究室に勤務、2012年10月より現職。岩沼市子ども・子育て会議委員/岩沼市次世代育成支援協議会委員。研究分野は津波工学、減災教育。



東北大学学術資源研究公開センター長  
西 弘嗣

1987年九州大学理学研究科修了。理学博士。山形大学理学部助手、東北大学理学部助手、九州大学大学院比較社会文化研究科助教授、北海道大学大学院理学研究院准教授などを経て、2012年より現職。2003年、日本古生物学会学術賞を受賞。研究分野は層位・古生物学、地質学。



東北大学総長顧問  
マーティ キーナート

アメリカロサンゼルス生。1968年スタンフォード大学卒。1969年慶応大学日本語コース修了。以来滞日40余年、一貫して日米を通じたスポーツビジネスに身を置く。日米両国においてビジネス、プレイヤー双方の実経験から、日米比較や日本の教育システムにさまざまな問題提起を意見。2004年「東北楽天ゴールデンイーグルス」の初代ゼネラルマネージャー。現仙台大学副学長/東北大学特任教授兼総長顧問。

## FAXお申込み用紙

申し込み先：河北新報社企画事業部 **FAX 022-211-1221**

フリガナ 参加者氏名	所属機関・役職
FAX番号	電話番号またはe-mail
住所 〒	

※メールでもお申込みいただけます。 [j-oubo3@po.kahoku.co.jp](mailto:j-oubo3@po.kahoku.co.jp)